**をするに**

おをりるときにをつけること

これからおをりるときはのことにをつけてください。

したのためのおをりると、ほかのをうことができなくなるかもしれません。

どのをうのがいいかよくべてべてからめてください。

●あなたがけることができるおのことをよくべてください。

\*、\*、・のためにしごとがなくなったがけることができるおがあります。

\*-–-・などでっているをけるためにみんなでめるお

-–-・などでがんでしまったり、きなをしたり、がれたりしたがけるお

おをりるに、あなたがけることができるおがあるかどうか、まわりにいるややののやのをするのにしてください。

●おのしをよくべてからりてください。

おをりるとずさなければいけません。

\*があるかどうかやいつまでにさなければいけないかよくべてください。

\*-–-おをりたとき、りたおのほかにうお

まわりにいるややののやのをするのにしてください。

**貸付制度（かしつけせいど）を利用（りよう）する際（さい）に**

お金(かね)を借(か)りるときに気(き)をつけること

これからお金(かね)を借(か)りるときは次(つぎ)のことに気(き)をつけてください。

被災(ひさい)した人(ひと)のためのお金(かね)を借(か)りると、ほかの制度(せいど)を使(つか)うことができなくなるかもしれません。

どの制度(せいど)を使(つか)うのが一番(いちばん)いいかよく調(しら)べて比(くら)べてから決(き)めてください。

●あなたが受(う)け取(と)ることができるお金(かね)のことをよく調(しら)べてください。

義援金(ぎえんきん)\*、見舞金(みまいきん)\*、地震(じしん)・津波(つなみ)のためにしごとがなくなった人(ひと)が受(う)け取(と)ることができるお金(かね)があります。

\*義援金(ぎえんきん)-–-地震(じしん)・津波(つなみ)などで困(こま)っている人(ひと)を助(たす)けるためにみんなで集(あつ)めるお金(かね)

\*見舞金(みまいきん)-–-地震(じしん)・津波(つなみ)などで家族(かぞく)が死(し)んでしまったり、大(おお)きなケガ(けが)をしたり、家(いえ)が壊(こわ)れたりした人(ひと)が受(う)け取(と)るお金(かね)

お金(かね)を借(か)りる前(まえ)に、あなたが受(う)け取(と)ることができるお金(かね)があるかどうか、まわりにいる市(し)や町(まち)や村(むら)の係(かかり)の人(ひと)や避難所(ひなんじょ)の世話(せわ)をする係(かかり)の人(ひと)に相談(そうだん)してください。

●お金(かね)の返(かえ)し方(かた)をよく調(しら)べてから借(か)りてください。

お金(かね)を借(か)りると必(かなら)ず返(かえ)さなければいけません。

利子(りし)\*があるかどうかやいつまでに返(かえ)さなければいけないかよく調(しら)べてください。

\*利子(りし)-–-お金(かね)を借(か)りたとき、借(か)りたお金(かね)のほかに払(はら)うお金(かね)

まわりにいる市(し)や町(まち)や村(むら)の係(かかり)の人(ひと)や避難所(ひなんじょ)の世話(せわ)をする係(かかり)の人(ひと)に相談(そうだん)してください。